

# 『がん化学療法看護』 研修会実施報告

日時 : 平成 29 年 11 月 4 日  
対象者 : ラダーⅢ (卒後 5 年目以上)  
参加者数 : 23 人 (対象者 23 名)  
目的 : がん化学療法看護について知識を深める

## <講師の紹介>

がん化学療法看護認定看護師 : 主査

大和高田市立病院入職後、2012 年がん化学療法看護認定看護師資格を修得。現在は外来で化学療法を受ける患者だけでなく、がん患者のサポートとして意思決定支援、病状変化期の療養支援を中心に活躍されています。

がん化学療法看護認定看護師

大和高田市立病院入職後、2015 年がん化学療法看護認定看護師研修を受けられ、2016 年がん化学療法看護認定看護師を修得。現在は外来化学療法室で化学療法患者、がん患者の支援に携わり活躍されています。



## <内容>



講義の前半では、がん化学療法の看護、基礎知識、抗がん剤の種類、薬剤別の副作用、レジメンの見方について詳しく講義して頂き、抗がん剤を投与する重大性を再認識することができました。後半はグループワークを実施しました。各々に与えられた事例をもとに、化学療法を受ける患者がどれほどの不安の中で治療を受けているのか、またがん看護領域における看護師の役割やインフォームドコンセントにおける看護師の役割、がん化学療法における意思決定支援についての関わりについての意見交換を行いました。患者が安心して治療を受けられるようがん看護ケアの向上につながる研修となりました。